

令和 4 年度 大学塾第 1 ステージ 開催案内

篤姫と和宮～大奥から見た幕末～



篤姫

江戸城・大奥は徳川将軍の血を絶やさないことを目的とした。欲望、陰謀、嫉妬、虚栄心を背景にした女の権力が、政治の表と裏でつよく影響を与えていた。

やがて、将軍家が瓦解してゆく。徳川大奥の女性たちは、どのように幕末に関わったのか、女の生き方と隠然たる政治力に迫る。



和宮

講師：穂高健一氏 小説家(2021年「紅紫の館」・登山家・写真家)

会場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室1・4 階 講堂

講義日時・内容：第 1 回 (5/7) 天璋院篤姫 将軍継承問題の激しい対立と大奥の政治力

第 2 回 (6/11) 皇女和宮の降嫁と家茂将軍の夫婦愛 そして悲劇の物語

第 3 回 (7/9) 対立する嫁と姑がお家存続で立ち上がる

毎回土曜日 全3回 午後 2 時～4 時

中世古文書 講座

朝廷文書と天皇の宸翰^{しんかん}

歴史上の有名な事件や人物のエピソードなどその実像を直接・間接的に伝えてくれるのが古文書です。この講座では博物館などで所蔵される貴重な中世古文書を紹介し、様式、内容からそれぞれ一通の持つ歴史的背景に迫ります。今回は、廷臣である貴族たちの文書：三蹟から小野道風、藤原行成の文書と天皇直筆の文書：宸翰(しんかん)を読み、その時代の実像を読み解きます。



講師：高梨真行氏 宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官・元文化庁 文化財調査官

会場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室 4

講義日時・内容：第 1 回 (5/15) 平安朝の政治と天皇・上皇の文書 ～勅・院庁下文

第 2 回 (5/22) 中世の禁裏と天皇・上皇の文書 ～諭旨・院宣

第 3 回 (5/29) 公家文書の中の天皇宸翰

毎回 日曜日 全3回 午後2時～4時

みんなの広場

バルカン半島の旅 (3)



鉄道と川が並行する山越えの景色



モスタルの歴史的アーチ橋

旅はアドリア海に面したクロアチアの街々を離れて内陸のボスニア・ヘルツェゴビナに向かいます。鉄道と川に平行しながらディナル・アルプスの山々を越えると、古都モスタルに着きます。モスタルにはオスマン帝国時代のアーチ橋を見ました。ここも1990年代の民族＝宗教紛争で歴史・文化遺産が破壊されましたが、2004年再建されました。

下から見上げるととても高い建造物です。近くの土産店を冷かしてからサラエヴォに向かいます。

サラエヴォは、ボスニア・ヘルツェゴビナの首都、1984年に冬季オリンピックが開かれました。イスラム教が多数派の国なのであちこちにモスクの高い塔が見え、オスマントルコの面影と紛争の爪痕が残る街です。右の写真2枚

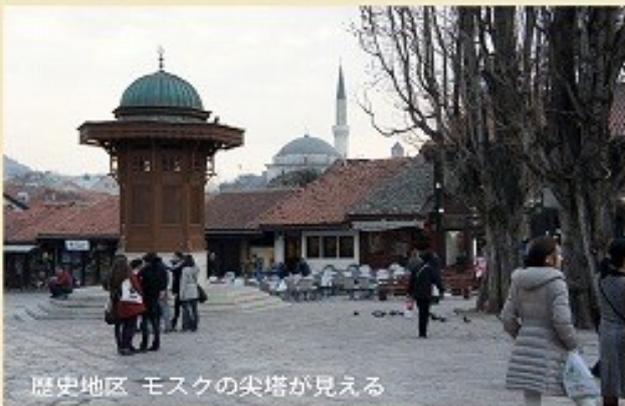


市民の足、市電が縦横に走っている

第一次大戦の発端になったサラエヴォ事件（オーストリア皇太子が暗殺された）の銀行は現在記念館になっていて見学しました。（この事件はオーストリアとセルビア＝当時との戦争から第1次世界大戦へと発展したのです）

これで「バルカン半島の旅」終了です。写真は全て自分の撮影です。

（神戸 明）



歴史地区 モスクの尖塔が見える

地政学では半島国家という概念があるそうで、海の力と大陸の力がぶつかるので紛争が起こりやすい地域とされます。また回廊国家という概念も同じように大国の力が通過する地域でも紛争が多いとされます。日本は大陸から離れてそんな力は働きませんが、地震と台風がそれに代わるかも知れません。

令和4年3月事務局からの報告・連絡

「まん延防止等重点措置」再延長に伴う楽学の会の対応について

代表挨拶

2022年1月21日～2月13日「まん延防止等重点措置」が適用され活動は自粛となりました。感染拡大が収まらず3月6日まで延長となり、さらに3月21日まで再延長されました。再三の延長に伴い大学塾講座の中止・延期の対応に追われました。期間中の対応について下記纏めました。

1. あだち区民大学塾

・下記にて受講申込者にはハガキ、メールで連絡しました。

① 中世を読み解く『日記』に見る中世Ⅱ・3月12日・19日・26日(土)開催予定

・講座は中止・令和5年3月頃改めて開催予定

② 鎌倉幕府講座・1回目は終了、2回目3/12(土)、3回目4/17(日)開催予定

・延期開催・2回目4/17(日)午前10時～12時、3回目4/29(金)午後2時～4時

・参加できない受講者に返金処理を行う 5/10(火)～5/13(金)午後ワークルームにて

③ 日本書紀講座・3月17日・24日・31日(木)開催予定

・講座は中止・令和5年2月頃改めて開催予定

④ 日本経済入門2022講座・4月2日・9日・30日(土)開催

・予定通り開催、応募締切日3月18日、受講券発行

2. 会議関係

・3/1(火) 講座企画会議…メール会議

・3/1(火) 運営委員会…メール連絡

・3/15(火) 講座検討会議…メール会議

・3/15(火) 月例会(センターの防災施設見学)…中止

・各部局会議はメール会議とする。

3. 事務局当番

・応募はがき受け取り、留守番電話の確認、講座中止、延期等問合せの対応

(代表理事 篠原英也)

令和4年5月「通常総会」のご案内

楽学の会 令和4年通常総会を開催します。

日時：令和4年5月23日(月)午後3時～5時

場所：生涯学習センター・研修室4

議題(案)：(詳細は別途ご案内致します)

第1号議案 令和4年通常総会議長選出の件

第3号議案 令和3年度事業報告の件

第4号議案 〃 活動報告の件

第6号議案 令和4年度事業計画の件

第7号議案 〃 予算の件

第8号議案 理事・監事選

*委任状は事務局 江川宛提出をお願いします。

(事務局)

総会終了後、引き続き月例会を行います。(ボランティア活動推進部)

◎講座名:一目でわかる?! 日本近代文学史

日 時:5月13日(金)午後1時30分~3時30分
 対 象:16歳以上の方
 会 場:5階 研修室1
 受講料:800円(一律、講座当日にお支払いください)
 定 員:40名(事前申込先着順)
 講 師:佐藤 裕子氏(フェリス女学院大学文学部教授)
 内 容:日本近代文学の成立を考える時、海外との関わりを抜きに語ることはできません。坪内逍遙、二葉亭四迷、森鷗外、夏目漱石のそれぞれが目指した「文学」の内実を確認しつつ、白樺派までの流れを概観したいと思います。
 ※当講座は Zoom を使ったオンラインでも受講できます。定員 10 名、受講料は 5 月 6 日までにお支払いください。お申し込み時にメールアドレスをお願いします。(講座招待メールをお送りします)

◎講座名:夏目漱石の『こゝろ』を読み直す

日 時:5月20日(金)・27日(金)、6月3日(金)
 3日制 午後1時30分~3時30分
 対 象:16歳以上の方
 会 場:5階 研修室1
 受講料:2,400円(一律、講座初日にお支払い下さい)
 定 員:40名(事前申込先着順)
 講 師:佐藤 裕子氏(フェリス女学院大学 文学部教授)
 内 容:『吾輩は猫である』、『坊ちゃん』は通読したけれど、他の作品は難解で、と思っておられる方、ご安心ください。漱石作品は人生経験を積んだ今だからこそ、解る作品が多いです。今回は『こゝろ』を取り上げます。より文豪漱石を身近に感じてみませんか?
 ※当講座は Zoom を使ったオンラインでも受講できます。定員 10 名、受講料は 5 月 13 日までにお支払いください。お申し込み時にメールアドレスをお願いします。(講座招待メールをお送りします)

お申込みは、電話(03-5813-3730)又は直接窓口
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
 イベント・講座情報→講座予約システム

令和4年4月「月例会」のご案内

4月15日(金) 午後3時~5時 研修室4
 テーマ:「令和3年度 活動の振り返り」と
 「次年度の計画」について

令和4年5月「通常総会」のご案内

5月23日(月) 午後3時~5時 研修室4
 テーマ:「令和4年 通常総会」開催
 総会后「月例会」を行います

*皆様の積極的な参加をお待ちしています。
 (ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会
4月1日(金) 午後2時半~4時 研修室4
- ◎ 月例会
4月15日(金) 午後3時~5時 研修室4
- ◎ 学習支援部
4月15日(金) 午後1時~2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
4月8日(金) 午後2時~4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
4月4日(月) 午後2時~4時 ニュース発送
4月12日(火) 午後2時~4時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
4月15日(金) 午後2時~3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
4月1日(金) 午後1時半~2時半 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
4月11日(月)

★お問い合わせ&ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話:090-3105-8140
E-Mail : takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ
<http://gakugaku.main.jp/>
広報 G 神戸 明 電話:03-3606-0058
E-Mail : kambe.akira2@gmail.com

編集後記

『衣類の墓場・合成繊維衣類の洗濯』

国連の報告によると、衣類の年間生産量は1千億着に達し安価で流行を取り入れた新しいデザインの衣服を次々低価格で売るファストファッションの広がり、更に大量の衣服が供給され、過剰生産による売れ残り等で大量に廃棄されているのが現状。南米チリのアタカマ砂漠では世界中から着古した衣類が集められ不法投棄された「衣類の墓場」がある。ロンドンでは売れ残り返品された商品の「大量廃棄」がメディアで報じられました。(その事は世界の温室効果ガス排出量の8%を占める)。

また、衣類の洗濯により、毎年50万トンのマイクロファイバーが、海に流れ出ている。なんと500億本のペットボトルに相当する。これらのマイクロファイバーの多くはポリエステル・ナイロン・アクリルなどの合成繊維です。洗濯時に合成繊維で作られた衣類から抜け落ちた繊維くづ(マイクロファイバー)は洗濯水と一緒に排出され海に流れ込んでいますが分解はされません。(海中のマイクロプラスチック類(生分解されないプラスチックの微細な粒子)の35%はポリエステルなどの合成繊維を洗濯したことで海に流れ込んだと推測される)。

(金子 記)